

所 属 鳥取県漁業協同組合（賀露支所）

氏 名 あじの かずたか
網師野 和 敬（43歳）

船 名 だいにえいふくまる 117トン
第二永福丸

漁業種類 沖合底びき網漁業



～賀露屈指の水揚げを誇る第二永福丸の船長～

祖父も父も漁師という漁家出身で、苗字も“網師野”とまさに漁師！な網師野さんは、沖合底びき網漁船をもつ網師野漁業の代表取締役兼船長である。とはいっても漁業一筋で生活していたわけではなく、実は1度漁業から身を引いていた時期があった。その期間は鳶職をしていたが、“気づいたら”漁師に戻っていたという。

「あれこれ考える、魚を獲るまでのプロセスが楽しい」と笑いながら話す網師野さん。漁場は様々な要素が複雑に絡み合った結果であり、それを読むことで多くの漁獲に恵まれた時は何事にも代えがたい喜びがある。また「船員時代にいじめを受けたことがあって、その経験が今に生きている。チームワークと船員の安全が第一。バクチ商売とはいえ船員の生活が懸かっているし、常に責任感を感じている」とも語る。

多くの船員を抱え、常に危険と隣り合わせだが当たればでかい、沖合底びき網漁業。網師野さんの的確な営漁計画とリーダーシップによって、今日も第二永福丸は大漁に恵まれるに違いない。

～パチンコは経費では落ちない～

網師野さんの趣味は、パチンコである。「パチはツキの帳尻合わせ」と考えており、“負けるために行く”のだそうだ。そのツキは漁に還るのである（うっかり勝つこともしばしば）。そんな網師野さんが、勘弁してほしいことがある。それは、「パチンコは、経費では落ちない。」

（文責：徳安 理敬）